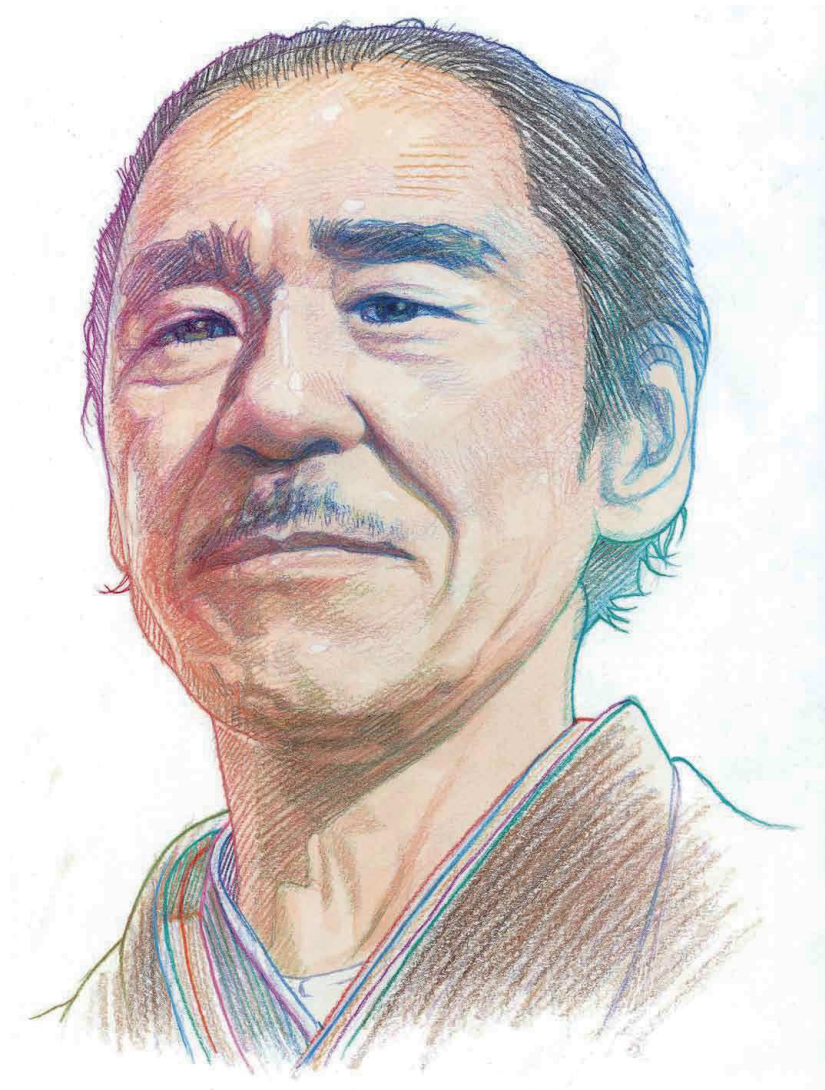


故郷球磨を愛した作家

おやまかつきよ

小山勝清

Oyama Katsukiyo



明治 29 年 (1896) ~ 昭和 40 年 (1965)

相良村生まれ

小説家

青年期には労働運動に関心を抱き、^{さかいとしひこ}堺利彦の門下となって^{あし お どう ざん そう ぎ}足尾銅山争議に参加。また、郷里の球磨地方の新聞や同人誌で、^{どう じん し}橋本憲三らと共に文芸運動を展開、このころ^{たか むれい いつ え}高群逸枝とも知り合う。その後、^{やなぎ た く に お}柳田国男などの影響を受け、^{みん よう}民謡や童話の世界に入る。創作に活路を得て、『牛使いの少年』など児童文学にすぐれた作品を残した。長編小説『^むそれからの武蔵』は、テレビでも放送され、人気を博した。